

青森県高等学校商業教育研究会

研究誌編集委員会 発行

編集

三沢商業高等学校	向谷地 史 拓
弘前実業高等学校	鈴木 瞳
下山学園高等学校	半田 莉玖斗



# 東北大会の感想

令和七年度第五十二回

東北六県高等学校ビジネス計算競技大会

十一月一日

## 三沢商業 珠算・電卓 W優勝

三沢商業高等学校 二年 坂澤 里優

私は団体メンバーの一人として「絶対に足を引っ張りたくない」という責任感、そして個人・団体ともに「優勝したい」という強い気持ちをもって大会に臨みました。七月の全国大会で力の差を痛感して以来、負けず嫌いな性格に火が付き、部活だけではなく家でも毎日問題に向き合い、苦手種目から逃げずに練習を重ねました。目標通りどちらも優勝することができて嬉しかったです。来年の全国大会までに部活全体でもっと実力をあげて団体優勝を目標にこれからも努力し続けたいです。

三沢商業高等学校 二年 宮部 初音

東北大会で二連覇を達成した嬉しさもありますが、課題が残った大会でもあり、短時間で正確な計算を行うという競技の特性上、集中力と冷静さが強く求められ、改めて基礎の大切さを実感しました。また、他の参加者の取り組み姿勢や計算のスピードを間近で見て、自分に不足している点も明確になりました。全国大会優勝に向けて、今回学んだ事を生かし、部員全員が団体優勝を目標にできるようにこれからも日々の練習を大事にして頑張っていきたいです。

令和7年度第52回東北六県高等学校ビジネス計算競技大会



八戸商業高等学校 二年 千葉 瑠菜

私たちは、十一月一日に開催された第五十二回東北六県高等学校ビジネス計算競技大会に出場しました。青森県予選を全員で突破した後は、さらに練習に力を入れ、大会本番に臨みました。結果は、珠算競技の部で団体第二位、電卓競技の部では個人で読上算競技と応用計算競技に入賞することができました。

大会を通じて、悔しい思いもありましたが、それ以上に今後の練習や大会に向けた課題や目標を各自が明確にすることができました。次は、六月に全国大会予選が控えています。部員全員で心を一つにし、日々の練習に励んでいきます。

令和7年度第52回東北六県高等学校ビジネス計算競技大会



下山学園高等学校 二年 澁谷 妃鞠

岩手県立水沢商業高等学校で行われた東北六県高等学校ビジネス計算競技大会の珠算の部で、読上算と読上暗算の両方の競技で二位に入賞することができました。練習してきたことが発揮でき、とても嬉しいです。しかし、集中が足りない部分もあり、悔しい気持ちも残っています。この結果で満足することなく、次は一位を取れるように練習を頑張っていきたいと思います。



令和七年度第六十三回

東北六県高等学校ワープロ競技大会

十月二十七日

八戸商業高等学校 二年 永田 倫

私たちは、十月二十七日に秋田県大館市で行われた東北大会に出場しました。東北大会への出場は、部活動に取り組むうえで掲げていた目標の一つだったためとても嬉しく感じました。当日は、出場選手だけでなく、他の部員のサポートのおかげもあり、団体二位、個人では三位・四位に入賞することができました。

次の目標は、来年度六月に行われる県大会で入賞し、全国大会への出場権を獲得することです。これからも、日々の練習に精一杯取り組んでいきたいと思っています。

三沢商業高等学校 二年 北向 陽太

私は十月に秋田県で行われた東北大会に出場しました。前日練習では緊張することなく、自己ベストを更新するほど打ち、会場にも素早く慣れることができました。しかし、本番当日は緊張に負け、今まで通りの実力を出すことができませんでした。結果は団体四位と悔しい結果になってしまいました。が、打ち方や、どう工夫すればもっと打てるようになるのかなど改めて見直すことができました。

今回の東北大会では団体入賞を逃しましたが、次の大会は自分にとって最後になる大会です。悔しい結果に落ち込むことで終わらず、団体一位を獲れるよう日々の練習を大切に、部活動に取り組んでいきたいです。

令和7年度第63回東北六県高等学校ワープロ競技大会



令和7年度第63回東北六県高等学校ワープロ競技大会





# 令和7年度 各種大会結果報告



## 第57回青森県高等学校ワープロ新人競技大会

兼 第63回東北六県高等学校ワープロ競技大会県予選会

《ワープロの部》

◎団体

第1位	八戸商業高等学校	3,735点
第2位	三沢商業高等学校	3,708点
第3位	青森商業高等学校	2,027点

◎個人

第1位	八戸商業高等学校	永田倫	1,422	打数
第2位	八戸商業高等学校	小比類巻泉望	1,388	打数
第3位	三沢商業高等学校	小山石優風	1,346	打数
第4位	三沢商業高等学校	北向陽太	1,236	打数
第5位	三沢商業高等学校	土橋虎太郎	1,209	打数
第6位	三沢商業高等学校	中岫彩乃	1,126	打数

◎1年生の部・個人

第1位	三沢商業高等学校	土橋虎太郎	1,209	打数
第2位	八戸商業高等学校	成田愛翔	869	打数
第3位	三沢商業高等学校	千葉穂乃花	834	打数
第4位	三沢商業高等学校	鶴ヶ崎桃月	824	打数
第5位	三沢商業高等学校	横浜心音	791	打数
第6位	青森商業高等学校	白川智依	677	打数



## 第57回青森県高等学校ビジネス計算新人競技大会

兼 第52回東北六県高等学校ビジネス計算競技大会青森県予選会

《珠算競技の部》

◎団体競技

第1位	三沢商業高等学校	1,100点
第2位	八戸商業高等学校	900点

■読上暗算競技

第1位	三沢商業高等学校	坂澤里優
第2位	三沢商業高等学校	沢居悠希
第3位	三沢商業高等学校	小野寺星七

■読上算競技

第1位	三沢商業高等学校	坂澤里優
第2位	下山学園高等学校	澁谷妃鞠
第3位	下山学園高等学校	安田李菜

◎個人総合競技

第1位	三沢商業高等学校	坂澤里優	450点
第2位	下山学園高等学校	澁谷妃鞠	380点
第3位	八戸商業高等学校	田村美都姫	350点

■応用計算競技

第1位	三沢商業高等学校	坂澤里優
第2位	下山学園高等学校	澁谷妃鞠
第3位	三沢商業高等学校	坂本梨々花
第3位	三沢商業高等学校	小笠原逞



《電卓競技の部》

◎団体競技

第1位	三沢商業高等学校	1,440点
第2位	八戸商業高等学校	1,190点

■読上算競技

第1位	八戸商業高等学校	千葉瑠栞
第2位	三沢商業高等学校	能方永真
第3位	三沢商業高等学校	宮部初音
第4位	三沢商業高等学校	太田梨南
第5位	八戸商業高等学校	佐藤柑奈

◎個人総合競技

第1位	八戸商業高等学校	千葉瑠栞	500点
第2位	三沢商業高等学校	宮部初音	490点
第3位	三沢商業高等学校	新田優希斗	480点
第4位	三沢商業高等学校	能方永真	470点
第5位	三沢商業高等学校	太田梨南	460点
第6位	三沢商業高等学校	石川悠玖	430点

■応用計算競技

第1位	八戸商業高等学校	千葉瑠栞
第2位	三沢商業高等学校	宮部初音
第3位	三沢商業高等学校	能方永真
第4位	三沢商業高等学校	新田優希斗
第5位	三沢商業高等学校	太田梨南
第6位	三沢商業高等学校	石川悠玖

## 第30回青森県高等学校簿記競技大会

応用部門

◎団体の部

第1位	三沢商業高等学校	379点
第2位	弘前実業高等学校	354点
第3位	青森商業高等学校	268点

基礎部門

◎団体の部

第1位	三沢商業高等学校	254点
第2位	弘前実業高等学校	212点

◎個人の部

第1位	弘前実業高等学校	田中聖真	174点
第2位	三沢商業高等学校	須藤輝	151点
第3位	青森商業高等学校	佐川依央渥	137点
第4位	三沢商業高等学校	大滝泰斗	122点
第5位	三沢商業高等学校	村田凌汰朗	106点
第6位	弘前実業高等学校	石黒想宇	91点

◎個人の部

第1位	三沢商業高等学校	遠藤陽斗	88点
第2位	三沢商業高等学校	和田心音	86点
第3位	弘前実業高等学校	石戸谷和花	80点
第4位	三沢商業高等学校	高橋莉杏	80点
第5位	三沢商業高等学校	芋田葵	76点
第6位	三沢商業高等学校	三村文也	76点

※同点は第2審査で順位を決定





# 新人競技大会を終えて

大会参加人数が減少する中、自分と向き合いたくさんの学びを得られた大会になったと思います。来年度の全国大会予選に向けて頑張つてほしいです。

令和七年度第五十七回

青森県高等学校ビジネス計算新人競技大会

九月二十日



**三沢商業高等学校 一年 沢居 悠希**  
三沢商業高校の珠算部は全国でも有数の強豪校であり、そのプレッシャーから、すごく緊張しました。その名に恥じぬよう練習した結果、団体優勝することができましたが、いつもより点数が低く自分がすごく足を引っ張ったと思います。次は先輩の足を引っ張らないように日ごろの練習にしっかりと取り組み、わからない問題があってもすぐあきらめずに先生や先輩に聞いたりしてわからない問題をなくします。そして、来年度入部してくる後輩にかっこいい姿を見せられるようにしていきたいです。

**三沢商業高等学校 二年 能方 永真**  
新人チームになってから初めての大会であり、部員全員が不安と緊張でいっぱいでした。ですが、一人ひとりがこの大会のために全力で練習に取り組んできたことで団体優勝という結果につながることができたと思います。また、たくさんの方々の応援が自信と励みになり頑張ることができました。今回の大会で、それぞれの課題や成果を把握することができたので、それを今後の練習に生かし、部活動全体としてより一層成長していくことができるよう頑張っていきたいと思います。



令和七年度第五十七回

青森県高等学校ワープロ新人競技大会

九月十三日



**八戸商業高等学校 二年 小比類巻 泉望**

ワープロ新人大会に向けた練習では、思うように記録が伸びず、焦りや不安を感じる苦しい時期もありました。ミスが続き、自分の力不足を痛感することもありましたが、基本に立ち返り、正確さと安定性を意識して練習を重ねてきました。仲間と励まし合い、課題を共有しながら取り組めたことが団体優勝につながったと思います。この経験で得た自信を胸に、東北大会でもこれまでの努力を発揮し、全力で挑戦したいです。



**三沢商業高等学校 一年 土橋 虎太郎**

今回の新人戦は八戸商業で行いました。以前行った合同練習会によって、環境に慣れた状態で大会に臨むことができました。前日練習では、会場の雰囲気をつかむことを意識したり、自分が打ちやすい環境が作れるように事前に確認しておいたりすることができました。大会本番にはいつもの実力を出すことができ、結果として一年生の部個人優勝をすることができました。次の大会では自分のベストを更新できるよう今までよりも普段の練習に集中して取り組んでいきます。



令和七年度第三十回

青森県高等学校簿記競技大会

十月二十五日

**三沢商業高等学校 二年 須藤 輝**

結果としては、基礎・応用部門ともに団体一位を取ることができたが、個人では一位を逃してしまいました。個人的には本番に弱いということもあり、ケアレスミスが目立ちました。これは日商簿記一級を勉強しているという自身の慢心が原因だったと思います。これからはもっと謙虚に、自分はまだまだ未熟だということを認識して、来年の全国予選では団体・個人とも一位を取ることが目標にして、簿記部一丸となって日々学習に励んでいきたいです。



**弘前実業高等学校 二年 田中 聖真**

私は全国大会出場を経て新人戦では団体と個人での優勝を目指して頑張っていました。新人戦前までは一位を取る自信がありませんでしたが、いざ他の学校の生徒たちを見ると段々と不安なくなっていました。しかし、これまで頑張ってきた日々や全国大会のことを思い出すことで自信を取り戻し、大会に挑むことができました。結果は基礎・応用部門ともに団体二位、個人一位を取ることができました。初めて一位を取ることができてとても嬉しかったです。夏の県予選では団体と個人どちらでも優勝を取れるようにみんなで頑張ります。





# 各校の取り組み

各校では新商品の開発やビジネス教育が進められています。

## 青森商業

商品名「カシスピーチソース」

商品内容「青森県産のカシスとピーチを使用したフルーツソース」

協力者「DINING BAL So-Na 富田やん」

青森県の特産品の魅力を発信するために、県産食材を原材料としたソースの開発を行いました。作成した様々な商品企画書をもとに富田さんとの打ち合わせを重ね、カシスピーチソースの開発がスタートしました。考案したレシピの試作を企業に依頼し、試作品の改良を経て青商オリジナルのカシスピーチソースが完成しました。今年、青商祭のみの販売となりましたが、今後は販路を拡大してより多くの方々に特産品の魅力を届けられるよう活動していきたいと考えています。

カシスピーチソース



ベアリーモナカ



タルタルソース



とりさんのおやつばこ



## 青森商業

商品名「ベアリーモナカ」

商品内容「カシスを餡にした最中」

テーマ「和菓子で青森県の魅力を発信する」

協力企業「松栄堂」

日本の文化である和菓子の魅力を再発見するとともに、青森県の名産品を使った和菓子を開発して青森県の魅力を発信しようという試みから課題研究で取り組んでいます。松栄堂に協力を依頼し、いくつかのアイデアを考えプレゼンしました。日持ちの問題であったり、原価の問題であったり、最初からうまくはいきませんでした。班員と話し合いをしてようやく完成させることができました。商品を開発するまでの過程と苦労を学ぶことができました。文化祭で販売したところ好評で完売することができました。商品を開発して販売するという貴重な体験をすることができました。

## 三沢商業

商品名「とりさんのおやつばこ」

「タルタルソース」

協力企業「東北ファーム」

私たちは東北ファームと共に四代目「愛を込めて届け隊」として活動しています。今年青森県で行われる国スポを応援するための新商品開発と、四代目の新商品開発のラベル製作を行いました。お土産品は、5種類のバームクーヘンを使用した「とりさんのおやつばこ」と名付け、パッケージには班員が描いたイラストの入ったかわいらしいデザインになるよう工夫しました。新商品のタルタルソースは「計算された完璧な味」という商業らしいユニークなキャッチフレーズにしました。自分たちで作ったものが完成し、とても嬉しく思っています。



## 八戸商業

商品名「ベリナンシエ」

「青森ブラックザクベリ」

商品内容「ブラックベリーを使用したフィナンシエ・くずアイス」

協力企業「4c2factory」

私たちは「ブラックベリーの知名度を高めたいく美味しく食べて健康になろう」というテーマのもと、商品開発に取り組みました。ブラックベリーは生活習慣病予防に効果が期待できる果物ですが、知名度が低く、味や存在があまり知られていないという課題があります。そこで、多くの人にブラックベリーの魅力を知ってもらうため、ブラックベリーを使用した商品を開発しました。

開発した商品は、フィナンシエやくずアイスなど、年齢を問わず食べやすく、親しみやすいものを選びました。商品開発の過程ではさまざまな課題がありました。企業の方に相談しながら、無事に完成させることができました。この取り組みを通して、商品開発の難しさと楽しさを実感するとともに、商品の魅力を伝える工夫の大切さを学ぶことができました。

ベリナンシエ



青森ブラックザクベリ



## 弘前実業

「ビジネス基礎」おける高大連携

一学年商業科二クラスと情報処理科一クラスが、ビジネス基礎の情報の収集と活用分野において学習内容をより深めるため、弘前大学の図書館を利用していただきました。図書館の利用方法や、これから情報を収集する際の検索方法などを始め、大学生の学習方法を身近で見ることができ生徒にとって様々な学びに繋がったと感じています。

